

大田区自立支援協議会 令和5・6年度 第3回地域生活部会議事録

文責：大場委員（事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 令和5・6年度 第3回地域生活部会			
(2) 開催日時	令和5年9月19日(火) 10:00~12:00			
(3) 開催場所	大田区立障がい者総合サポートセンター 5階 多目的室			
(4) 出席した委員、事務局	伊藤 朋春	小松代 菜央	大場 貴弘	柴田 静
	定森 由香	渡邊 優美	渡邊 晃嗣	青山 明子
	平井 有希子	榎 拓巳	広瀬 健次郎	松浦 好美
	橋本 朋子			
	区事務局：土岐 親跡 齋藤 鈴木			
(5) 内容・要旨	<p>1 議題</p> <p>(1) 事務連絡</p> <p>(2) 令和5・6年度の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今期のテーマ「10年後も住み続けたい大田区へ～世代を超えて知る機会を～」を基に、作業部会で話した内容として、下記の2点が挙げられた。 <ul style="list-style-type: none"> ① 情報発信の整理←令和5年度に検討。 ② 人的手段（身近な相談先）の発信方法 について←令和6年度に検討。 <p>①情報発信の整理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度大田区障がい者実態調査の「福祉情報の入手方法」から読み取れる内容として、以下が挙げられる。 <ul style="list-style-type: none"> 18歳以上→区報などの紙媒体から入手。 18歳未満→インターネットやホームページなどから入手。 ⇒このことから、実態調査の調査内容をどのように活用できるか、実態調査の調査内容を基に当部会で再アンケートを行い、詳細の情報を抽出し、整理する。 ・個人情報の取り扱いに配慮した上で、アンケート収集が必要。アンケート先の選定としては、委員の身近な方を対象とする。 ・10名位を一つの調査単位の目安として集計を図る。 ・アンケートの集計作業について、以前まではワーキンググループを設けたこともあるが、今回は必要ないとみている。 ・スケジュールは以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> 10月：アンケート作成 11月：アンケート実施（部会開催なし） 12月：アンケート集計・分析 1月：アンケート検証 			

	<ul style="list-style-type: none">・今日の部会ではアンケートの依頼が可能な方を探す。また、具体的な項目について検討する。・アンケートの選定について。任意のアンケートの為、“団体として”ではなく、委員の身近な人に協力を頂く。・集計の内容として、「年代」「回答者（当事者／家族／支援者）」「障害種別」。・アンケートは基本チェック方式（+自由記述）とし、回答時間は5分程度を目安とした内容とする。・アンケート内容は、以下の通り。<ul style="list-style-type: none">● 何から福祉情報を入手しているか？ 紙媒体／インターネット／その他● どんな情報が必要か？（どんな情報を知りたいか？） 選択肢として、「イベント」「相談先」「給付金」「サービス」「バリアフリー情報」「あらしに関する情報」等。● 自由意見（記述）・質問項目について検討／精査してアンケートを作成。 <p>2 その他</p> <p>作業部会 10／3（火）予定は中止。 次回開催日 10／17(火)</p>
--	---